



平成 22 年 6 月 23 日

各 位

会 社 名 アドアーズ株式会社
 代表者名 代表取締役社長 中川 健男
 (JASDAQ・コード 4712)
 問合せ先 代表取締役専務兼管理本部長
 八多川 昭一
 (TEL. 03-5623-1100)

支配株主等に関する事項について

当社の支配株主等に関する事項は、下記のとおりとなりますので、お知らせいたします。

記

1. 親会社、支配株主(親会社を除く。)又はその他の関係会社の商号等

(平成 22 年 3 月 31 日現在)

名称	属性	議決権所有割合 (%)			発行する株券が上場されている金融商品取引所等
		直接所有分	合算対象分	計	
GF 投資ファンド投資事業有限責任組合	その他の関係会社	39.19	—	39.19	—
株式会社ネクストジャパンホールディングス	その他の関係会社	24.90	—	24.90	東京証券取引所 マザーズ市場
株式会社ガイア	その他の関係会社	—	—	—	—

2. 親会社等のうち、上場会社に与える影響が最も大きいと認められる会社の商号又は名称及びその理由

上記のとおり、当社には複数の「その他の関係会社」が存在しますが、筆頭株主である GF 投資ファンド投資事業有限責任組合との間に人的関係および取引関係はございません。

また、株式会社ガイアは「財務諸表等規則第 8 条第 16 項チ」で定義される「提出会社の主要株主及びその近親者が議決権の過半数を自己の計算において所有している会社及び当該会社の子会社」として「その他の関係会社」に該当致しますが、同社とは直接的な資本関係ならびに人的関係は有しておりません。

一方で、株式会社ネクストジャパンホールディングスとは、平成 21 年 5 月 13 日付「アドアーズ株式会社と株式会社ネクストジャパンホールディングスの資本・業務提携に関するお知らせ」ならびに、同 9 月 14 日付「アドアーズ株式会社と株式会社ネクストジャパンホールディングスの資本・業務提携の強化に関するお知らせ」で開示しましたとおり資本業務提携を締結し、また平成 22 年 3 月 3 日付「第三者割当による自己株式の処分およびその他の関係会社の異動に関するお知らせ」のとおり、同社に保有自己株式の処分を実施するなど、緊密な協力体制を構築しており、このことから当社において最も影響が大きいと認められる関係会社であると判断しております。

3. 親会社等の企業グループにおける上場会社の位置付けその他の上場会社と親会社等との関係

①親会社の企業グループにおける上場会社の位置づけ、親会社やそのグループ企業との取引関係や人的・資本関係

前項で記載のとおり、当社は株式会社ネクストジャパンホールディングスと資本業務提携契約を締結しております。この契約に基づき、資本面では同社は当社株式を発行済株式総数に対する割合で 23.8%有しており、結果、当社は同社の持分法適用会社に該当致します。なお、当社も同社株式を発行済み株式総数に対する割合で 9.9%保有し、株式の持合関係を継続しております。

また両社の代表役員を相互派遣した上で、実務面におきましても同社子会社の株式会社ブレイク社より景品の一括仕入を行っているほか、互いの事業ノウハウの交換や新業態の展開のための人的交流、平成 22 年 6 月 14 日付「合併会社設立に関するお知らせ」のとおり、同社と共同出資の合併会社にて新規事業の開発・検討なども行っております。

(役員の兼務状況)

役職	氏名	親会社等又はそのグループ企業での役職	就任理由
代表取締役社長	中川 健男	「その他の関係会社」である株式会社ネクストジャパンホールディングス 社外取締役	資本業務提携に基づき
顧問 (※)	藤澤 信義	「その他の関係会社」である株式会社ネクストジャパンホールディングス 代表取締役社長	資本業務提携に基づき

※藤澤信義氏は平成 21 年 9 月 14 日付「アドアーズ株式会社と株式会社ネクストジャパンホールディングスの資本・業務提携の強化に関するお知らせ」のとおり、平成 22 年 6 月 25 日の定時株主総会の決議をもって、当社取締役就任予定であります。

②親会社の企業グループに属することによる事業上の制約、リスク及びメリット、親会社やそのグループとの取引関係や人的・資本関係などの面から受ける経営・事業活動への影響など

当社はネクストジャパンホールディングスと同じく、アミューズメント施設運営事業を中核としておりますが、同社との出店地域・形態ならびに客層等を鑑みた場合、競合関係にある店舗は少ない上、施設設計施工事業などのその他の事業におきましては、当社独自の事業として、自由な事業活動を阻害される状況にはないと考えております。また、同社子会社のブレイク社からの景品一括仕入につきましても、一括手配による仕入価額の削減や業務削減に伴うコスト削減効果、更には人気景品の確実な仕入を前提とした契約であり、同じく阻害される状況は起き得ないと考えております。

また、経営レベルでの意見交換や両社の社風を理解することによる提携関係の強化を目的とした、役員相互派遣を実施しており、平成 22 年 6 月 25 日の当社定時株主総会の決議をもって、同社代表取締役である藤澤信義氏が当社取締役に就任される予定であります。同社からの兼任取締役が半数に至る状況ではなく、また当社代表取締役社長である中川健男はすでに同社の社外取締役に就任しているなど、経営の独立性についても確保されていると考えております。

なお、現場レベルにおいても相互で少数の人材の出向を受けておりますが、これも資本業務提携の一環として互いのノウハウ交換を潤滑に行うことによるシナジー効果の最大化を目指すものであり、相互の要請に基づくものとして自由な事業活動に影響されるものではありません。

③親会社からの一定の独立性の確保の状況

当社はネクストジャパンホールディングスと緊密な協力体制を保ちながら、そのシナジー効果をもってアミューズメント業界における事業競争力を互いに高めあっていく方針を掲げておりますが、互いの事業ノウハウや業界での地位を尊重しあつた上での協力体制である上、兼任取締役や出向者の状況は、独自の経営判断・事業活動を妨げるものではなく、高い独立性が確保されているものと認識しております。

4. 親会社等との取引に関する事項

当社と「その他の関係会社」に属する GF 投資ファンド投資事業有限責任組合との間に取引関係はございません。また、その他の「その他の関係会社」である株式会社ネクストジャパンホールディングスおよびそのグループ会社、株式会社ガイアおよびそのグループ会社との取引については、「平成 22 年 3 月期 決算短信 (非連結)」47 項～49 項に記載しております「関連当事者情報」に記載の通りであり、一般取引先と同様の条件にて取引を行っております。

以 上